

令和4年度 コミュニティ協議会懇話会実施報告書

令和4年3月10日
特定非営利活動法人アートコラールきくがわ



1. 目的

先進事例紹介や情報交換会等を通じて、各地区コミュニティ協議会役員等が、自らの地域（地区）の現状を客観的に把握するとともに、他地区や市民活動団体との協働のきっかけづくりとする。

2. 実施概要

- (1) 日 時：令和4年3月10日（土）13：30～15：30
- (2) 会 場：六郷地区センター
- (3) 参加者数：26人
- (4) 運営：協働センター2名、市民協働課4名、大学生1名、名古屋からのゲスト2名

3. 内容

個人で解決することが困難な問題が増加している中、地域でお互いに協力し、助け合う組織づくりを進めるため、意思決定や対話の場づくりなど団体の運営に関する講座の開催や情報交換会等を行う。また、NPO法人の専門性とコミュニティ協議会の広域性等、互いの特質を知り、協働のきっかけづくりを行う。

4. プログラム

1. 挨拶・スタッフ紹介
2. オープニング
3. コミ協訪問報告、NPO×コミ協連携事業
4. 感想共有、質疑応答
5. グループワーク（1年の振り返り、地域について考えよう）
6. クロージング
7. 挨拶・連絡事項

5. まとめ

- (1) アンケート結果
 - 別添 参加者アンケート参照
 - 別添 協働センター振り返り資料

- (2) 所感

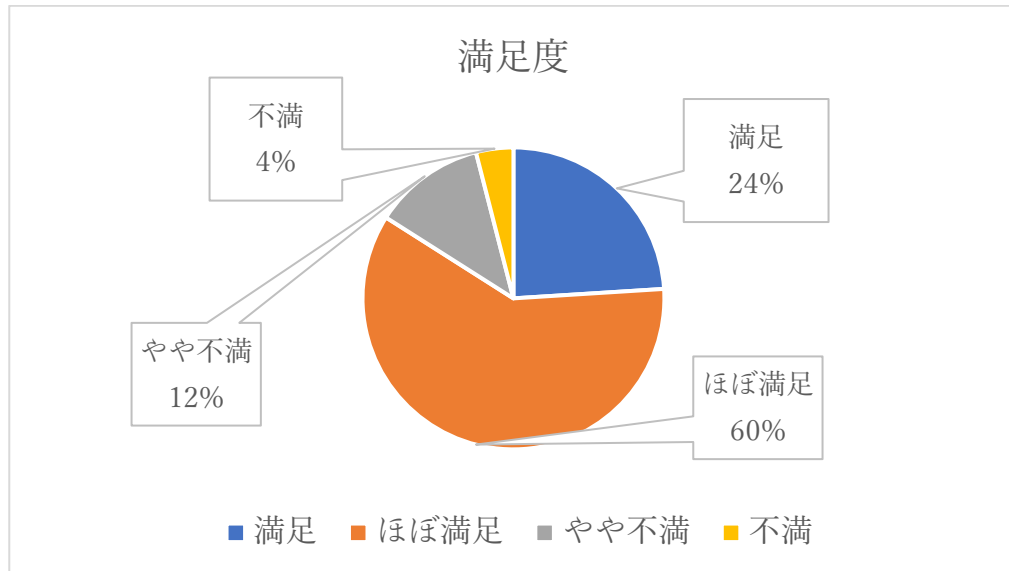
今回の懇話会の実施日については年度末ではなく、年度初めまたは途中にすることが必要だった。年度末ということで、役員が変わってしまうという地区も多く、懇話会の内容をすぐに活かすということが難しくなってしまった。内容では1年間の振り返りを行うことで、コミュニティ協議会の活動と地域について個人での内省、

他の地区との課題の共有ができた。参加者の全体的な満足度も高く、コミュニティ協議会の横のつながりをつくっていく場を設けていく重要性を改めて実感した。

【グループワーク様子】



コミュニティ協議会懇話会 アンケート結果



Q1：本日の懇話会の感想はいかがでしたか

- ・ 他地域や全体の状況を知ることが出来た
- ・ 他地区のコミ協役員の方と色々話ができよかった
- ・ 同じグループの方といろいろと話ができよかったです。参考になる話もよかったです。
- ・ 他のコミ協の状況が参考になった
- ・ 他地区の情報も聞くことが出来た
- ・ スライドが見にくい
- ・ 市民協働センターは自己満足で行事等（今回も含めて）をやっているのではないか
- ・ 地域の事を考える場が広がった
- ・ 会が短時間に感じた。内容がよかった
- ・ 六郷地区の多忙さを感じました
- ・ 自分の身の回りの良い所、悪い所の認識（再確認）ができた
- ・ 他の地区との考えを交流できた
- ・ 自分が考えていない意見を聞くことができた
- ・ グループでの話ができ
- ・ コミュニティの話題に対する他の人の考えを少し触れられた
- ・ それぞれ地域の人と話ができたこと
- ・ いろいろ意見がきけた

- ・ ほぼ時間が少なかった。
- ・ 他地区の皆さんと共感できることが多くあった
- ・ 自由なディスカッション
- ・ 内容が現実ではない
- ・ 他地区のコミ協役員の方と色々話げできた
- ・ 各地区の役員と親しく話げできた
- ・ 他地区の人との交流
- ・ 新しい視点が得られたから

Q2：特に印象に残ったこと、今後の地域活動に活かしたいと思ったことをご記入ください。

- ・ 様々な活動がマンネリ化しないように 例えげ NPO 等がイベントに関われるようにして新しい流れを入れていきたい
- ・ コミ協の活動に NPO も利用し自分達ではできないイベントもできるかな
- ・ コミュニティ協議会の運営方法
- ・ 事業へボランティアが協力してくれている
- ・ 老若男女を問わず活動できる（参加できる）イベントを考えていきたい
- ・ 自己紹介のやり方はいいと思った。このやり方は始めて。その後のグループ内での話し合いがスムーズになった
- ・ 色々な活動をしていきたい
- ・ 特になし
- ・ 市民の足を広げるため、コミュニティバス路線の拡大を望む
- ・ 良いこと悪いことの洗い出しで皆さんが同じようなことを思っている
- ・ みなさま、地域の事に一生懸命です
- ・ 単純に書き出しをしてみると意外と多数な意見が出てくるものと思いました。何もないように色々意見考えが出てくるものでした
- ・ 経験を伝承したい
- ・ 菊川まちづくり高校生との共同イベントを今後も実施していきたい
- ・ 自分にできることから少しずつ取り組みたい
- ・ 現在のコミュニティ活動の位置づけを確認して今後の進め方を共有して今後の地域活動を考えしていきたい
- ・ 久しぶりの秋祭りを必ず行うこと
- ・ どの地区でも老人が多いことが話題となった。その上でできることが何かをこれからも追ってきたい
- ・ 人と人とのつながり、若い人を巻き込んだ活動
- ・ 身の丈にあった自主活動が精神
- ・ 協働センターを仲介して色々行事ができるという事
- ・ 各地区の良い所と悪い所
- ・ みなさんコミ協のために一生懸命やっている。私も頑張ります

Q3：今後のコミュニティ懇話会で取り上げて欲しいテーマがあればご記入ください

- ・ 2に関連しますが、他の団体の活動を媒介できる方法や紹介して欲しい
- ・ 地区コミ協との交流ができれば
- ・ 合同イベントの仕方"
- ・ 地域イベントの開催方法→成功に導くためのポイント
- ・ 役員をどのように決めているか
- ・ コミ協事業の決め方はどうしているか
- ・ 学校とコミュニティ協議会の関わり方
- ・ コミ協活動での事例を多く聞きたい
- ・ 若者の参加を設ける会
- ・ お年寄りと若者のコミュニティの会も良いと思います
- ・ 他の組織との連携について
- ・ 若者（30代～40代）」が考えるコミュニティとは何か！
- ・ ただ「菊川はいい所」ではなく、定量化というか魅力を深く討議したい
- ・ コミュニティ協議会の今後の方向性、後継者について
- ・ 役員の継続
- ・ 各地区のコミ協の取り組み
- ・ 協働センターとコミ協との協働関係をつくる事例
- ・ コミュニティをもっともっと具体化と未来化して欲しい

Q4：その他、感想やご意見など自由にご記入ください。

- ・ いろいろ参加させていただき大変参考になりました。もう少し早い時期に開催していただくと役員さんたちにも声が掛けやすいです。3月はもう引退される役員さんも多く誘いにくいです。
- ・ 大学関係者（学生）が懇話会に参加しているのは良い
- ・ 勉強になりました。
- ・ 大変ためになりました
- ・ 地元大学と協働できる何かを取り上げて欲しい
- ・ 今後もこのような場をつくってほしい
- ・ ありがとうございます
- ・ 他のコミ協の自慢できる行事等の紹介